

# 「生」と「死」の漢字の成り立ち

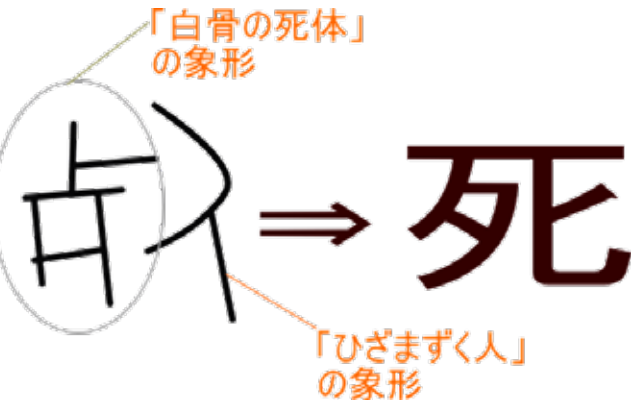
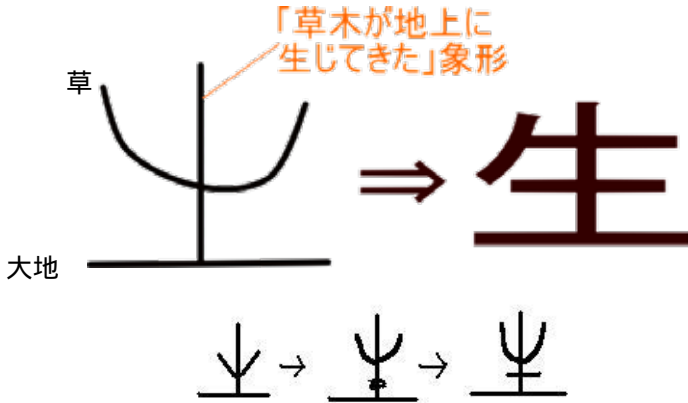
人間の一生に欠かせない漢字は「生」と「死」です。「生」と「死」の漢字の成り立ちについて考えてみましょう！

「生きる」「生まれる」の「生」。  
 「人生」「生命」の「セイ」、「一生」の「ショウ」とも読む漢字です。



古代文字

生という字は草の生える形を表した象形文字です。  
 草の芽が土から出て、上へ向かって育つ様子をと大地が結び付きました。



## 参考情報

(象形文字)			
	—		—  日 SUN
	—		—  木 TREE
	—		—  山 MOUNTAIN
	—		—  人 PERSON
	—		—  鳥 BIRD
	—		—  月 MOON

「死」の字は、そのかろうじて残された骨にたいしてひざまずく人の姿を表した字です。  
 「死」の左部に記されるのは、「歹(がつへん)、残骨を象ります。  
 その右部には、膝をつき、死者を甲う形が配されます。

会意文字です(歹+匕(人))。

「白骨」の象形と「ひざまずく人」の象形から、ひざまずく人の前に横たわる死体を意味し、そこから、「しぬ」を意味する「死」という漢字が成り立ちました。

それを草原のなかで行うのが「葬」です。  
 なお、身体をとどめる死者の形を写す字は「亡」であり、また「久」です。  
 「亡」は足を曲げた死者、「久」はうしろより木で支えられている死者をそれぞれ象る字です。